



産業情報支援センターの運営組織である
(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報を発信するページです。

今月は市内企業の所有する技術を紹介する「我が社の得意技」や「おもしろ科学ワールド」についてお知らせします。

我が社の得意技⁽²⁴⁾
クリーンルームを活用した野菜栽培

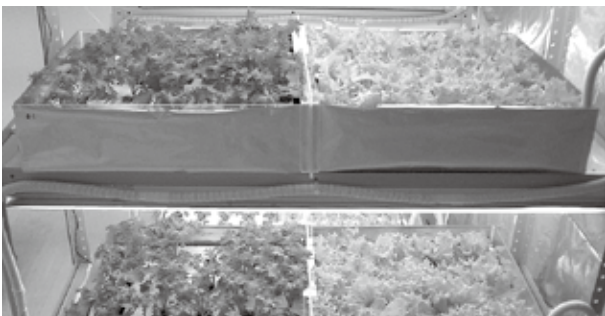
株式会社 日本システムグループ(ひうち)

得意技は団結力とスピード

「近年、食の安全・安心への意識から日本産に対する興味関心が高まってきている中、工場内の遊休スペースを活用して何かできないかと社内で話し合った結果、外食事業と工場野菜の分野へ進出することを決めました」と(株)日本システムグループ(NSG)の文野忍工場長と佐伯賢二新規事業部門長は語る。

NSGは平成2年に創業。

当初は10名程度の従業員でスタートしたが、現在は従業員220名を抱える企業へと成長した。NSGの特徴は、社内でのコミュニケーションから生じたアイデアを素早く活用し、従業員のやる気アップへつなげていることである。家電製品組立加工から始まったNSGだが、時代のニーズに応じ、光学機能性フィルム加工、医療器具製造、ガリウム精製と数々の事業に挑戦してきた。今回の工場野菜の栽培も、NSGの団結力とスピードから生まれた成果だ。



▲虫食いがなく、青々と育つ野菜

全国で注目される工場野菜

近ごろ農林水産省や大手企業が注目し、インターネットや新聞紙上で取り上げられることが多い工場野菜だが、NSGでは平成19年から栽培に取り組んできた。現在は自社技術を活用した設備を使い、レタス、わさび菜、大葉、鴨頭ねぎを栽培している。



▲BUでは安全・安心な野菜を提供している

工場野菜の特徴はクリーンルームを活用するため農薬を使用する必要が無く、安全・安心な野菜を、1年を通じて提供できることだ。露地やハウス栽培と比較して高値となる傾向にある工場野菜だが、コスト低減を図り、多くのお客様に安全で新鮮な野菜を届けるのがNSGの夢である。

現在、NSGが栽培した野菜は自社が経営するカジユアルビュッフエストラン「BU」に提供されている。「こだわりの生ビールと一緒に、安全で新鮮な食材を味わっていただきたい」NSGのチャレンジが続いている。

(技術相談室チーフアドバイザー 林)

サイクスからの事業案内
開催します!
おもしろ科学ワールド

四国電力(株)西条発電所の「おもしろ科学探偵団」が、科学の世界にご案内します。夏休みの思い出に不思議な科学実験を体験しましょう。

日時 8月4日(火)
13時~15時30分

対象 小学3・4年生

定員 80人

※申込者が多数の場合は、抽選で参加者を決定します。

参加費 無料

申込方法

7月22日(水)までに、産業情報支援センターへ電話またはファックスでお申し込みください。申込用紙は学校を通じて配布しています。産業情報支援センターのホームページからも申し込みができます。

